4月15日号

第101号

 日本統─運動 Newsletter

Japan Unitration Movement Newsletter

真の父母様の顕現を全世界に宣べ伝えよう!

韓国・清平で盛大に「聖婚 57 周年記念式」

天一国5年天暦3月16日(陽4月12日)、韓国・清平の天宙清平修錬苑で「天地人真の父母様 聖婚57周年記念式」が盛大に挙行され、韓国内外から約800人が出席しました。日本からは宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長と徳野英治会長夫妻をはじめ、全国の教区・教会の婦人代表約300人が参加。天の父母様の創造理想が実現する関門が開かれ、真の父母様の顕現によって全天宙に摂理の"春"が訪れた歴史的な一日を祝賀しました。

式典は、代表報告祈祷、記念映像「VISION2020 勝利 崇高な聖婚、 その夢の実現」の上映の後、全体の起立拍手を受けて真のお母様が ご入場。全体を代表し、宋総会長と徳野会長がお母様に花束を贈呈 しました。

ケーキカット、礼物(贈り物)奉呈が行われた後、文善進世界会長が歓迎の辞を述べ、「57年前のきょう、真の父母様は絶対・唯一・不変・永遠なる一致と統一を成されました。その紐帯は決して壊れることがありません。決して分離され得ない一体を成されたのです。この日は、神様の本然の理想が成就される日であるとともに、神様の摂理の最高点です。私たちがこの世界に伝播しなければならないのは、まさにこの重要な意味です」と強調されました。

続いて、鄭元 周総裁秘書室長が、1984年1月1日に捧げられた故・柳光烈先生の祝詩『今はお母様の時』を朗読。また祝歌として、祝福二世の女性声楽家と男性3人による声楽アンサンブルが、『春が来れば』と『アリラン』を美しいハーモニーで歌い上げました。

盛大な拍手の中で登壇された真のお母様は、約25分にわたってみ言を語られました(一部抜粋)。

「今日、人類は絶望の中で、何か希望を見つけ出そうとしています。 約 100 年前、ですから、私たちの国が解放された 1945 年より前 の話ですが、インドの詩人タゴールが日本に来て、韓国の方を見詰 めながら、『コリア、その灯火が再び明かりを照らす日に、あなたは 東方の明るい光となるであろう』という預言的な詩を詠みました。

光とは何でしょうか。光とは、真理であり、み言です。み言というのは、天の父母様、創造主のみ言です。約 100 年前に、そのように詠んだのです。

(きょうは) 原罪なく生まれた独り子、独り娘が、天の願いに従って小羊の婚宴を挙げた日です。天にとっては栄光、人類にとっては 喜びと希望の日となったのです。

しかし現実は、知らないので……。無知には完成がありません。 真の父母によって祝福を受けた祝福家庭の皆さんが、知らせなけれ









ばなりません。教育しなければなりません。 そのためには、国家の復帰が切実に願われま す。この国が当面している南北の問題は、政 治家では解決できません。何かの思想をもっ てしても、解けません。解決できるのは唯一、 真の父母だけです。

大小全ての国々が、父母様を中心に兄弟国として一つになるとき、人類の本当の平和が訪れます。しかし今は、いくつかの強大国によって左右されている状況です。これらの国々を教育する人が必要です。キリスト教は、何も分からない中から誕生しました。皆さんは摂理を知っています。これまで57年も、教育を受けてきました。ですから、祝福家庭には責任があります。

皆さんが当面している問題、すなわち氏族 メシヤになることも、大変急がれています。今、 この国が当面している問題を解決するために も、皆さんは総進軍しなければなりません。

真の父母様を誇り、知らせ、教育をすることが、皆さんの責任です。分かりましたか。 そのようにしますか。そのような決心をする、 この日となることを懇切に願います」

続く午餐会では、はじめに文研娥・世界平和女性連合世界会長が「勝利提議」(乾杯の音頭)を行い、「真の父母様として全人類に最後まで責任を持って導かれる、真のお母様のご健康を祈願し、国家と世界の復帰は、過去・現在・未来の先祖となる私たち祝福家庭の手

で真の父母様の当代に奉献せんとする決意を 集め、総進軍してくださることをお願いいた します」と語られ、全体で「(VISION2020) 勝利、勝利、勝利! | と唱和しました。

文化公演として、韓国からは天正宮博物館 警護チームのバンド「アップルヘブン」の歌 と演奏や日本の教会員による華やかなタップ ダンスと歌、韓国少女民族舞踊団「リトルエ ンジェルス」のかわいらしい歌と踊りなどが 会場を魅了。大取りとして韓国の人気歌手が 登場し、会場を盛り上げました。

最後に、李基誠・天宙清平修錬苑苑長のリードで億万歳三唱を行い、この日の行事は閉幕 しました。

[制作] 世界平和統一家庭連合 広報局

真のお母様の心情と 完全一致して邁進しよう

韓国・清平で「日本婦人代表研修会」

4月12日から14日にかけて、「日本婦人代表研修会」が韓国・清平の天宙清平修錬苑親和館B館で行われ、全国の教区・教会の婦人代表約300人が参加しました。 12日には「天地人真の父母様 聖婚57周年記念式」に参加し、真のお母様から直接み言を受ける恵みにあずかりました。



12日朝の開会式で、徳野英治会長は、家庭連合時代において婦人代表が目指すべき内的姿勢として、宋龍天総会長の提言に言及しながら、①天の摂理の方向性に一致した「摂理的指導者」②天の信頼と人々の信頼・尊敬を受ける「人格的指導者」③父母・兄姉の心情で食口たちをかき抱く「心情的指導者」——の3点を強調。「(母の国の使命完遂に加え)伝道教育や二世祝福など総合的な視野を持ち、牧会者と共に摂理の全般にわたって責任を持つという心情を持ってください」と語りました。

また、「聖婚 57 周年記念式」参加に先立ち、宋龍天総会長が講話を行い、聖婚の摂理的意義を解説した上で、「天の父母様と真の父母様の戦略と方向性に完全に一致した皆さんになるよう切に願っています」と訴えました。(4 面にメッセージの一部抜粋)

記念式の後は、本部の青年学生、家庭教育、伝道教育 の各局と伝道戦略委員会の責任者から報告を受けると共 に、二世圏祝福や教会基盤の拡大などについて現場の証 しが共有されました。 13日は、総務、復興両局の責任者による報告と現場の証しに続き、徳野久江会長夫人が講話を行い、「最前線で闘っているとしても、皆さんはお母さんの立場。皆さんを見たら、真のお母様の"香り"がして、お母様に愛され慰労されていると食口たちが感じられるような姿になっていきましょう」と述べました。

そのほか、地区別ミーティングやグループディスカッションを通じて、参加者同士が疎通と共有をする時間を 持ち、夜は和動会が行われました。

最終日の14日朝は、天宙清平修錬苑の李命官副苑長 が清平摂理について講義。

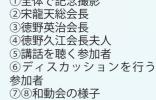
閉講式では、超誠一世界本部長が、真のお母様を中心 としてインドやアフリカなどで起こっている数々の"奇 跡"について報告。また徳野会長の講話に続いて、参加 者の代表が感想と決意表明を述べました。

参加者たちは、真のお母様の心情と完全に一致して邁 進すれば、考えられない程の大きな成果を収めることが できると信じ、再出発していきました。













宋龍天総会長のメッセージ

創造と堕落と復帰、そして再臨と小羊の婚宴を通じた 真の父母の理想の実現、そして私たちの祝福と現在の私 たちの生活を考えてみると、このすべてのことを計画し 進めながら、中心人物が責任を果たせない時も絶対に曲 げず、再び原理的な戦略と計画を立てて摂理された天の 父母様であられます。天の父母様こそ、真の知恵の王で あり、戦略の王であり、不屈の王であられることは明ら かです。それでは真の父母様はいかがでしょうか。この ような天の父母様に最も似た方がまさに真の父母様であ られるので、真の父母様も最も知恵深く戦略的であられ、 不屈の摂理的使命意識に燃える方です。そうであれば、 そんな真の父母様の路程にしたがって生きなければなら ない私たちは、世の中よりも賢く、より戦略的で、不屈 の意志を抱いて生きなければなりません。

 \Diamond

既に VISION2020 まで半分の期間を超えて3年しか残っていません。家庭連合の名称を与えられ、市民権復帰を勝利した基盤の上に立って、私たちの今年の戦略的目標は、長子権復帰の最後の年として、日本で信頼され尊敬される家庭連合になることです。

私たちの2020年までの目標は、日本で最も影響力のある宗教として父母権復帰を目指しています。そのため、毎年の戦略的な方向は、常に真の父母様の摂理と

一致した方向性から出されなければなりません。いくら良い戦略と戦術、そして勇士たちが準備されているとしても、方向が間違っていれば、何も達成することはできません。そのため日本家庭連合の戦略と方向性は、常に天の父母様と真の父母様の方向から 0.1 度の誤差もなく、完全に一体となった方向性を備えなければなりません。そこで日本家庭連合は必ず、真の父母様が望まれるVISION2020 の勝利的基準を完成するのです。

 \Diamond





いま真のお母様は、毎日を非常に深刻な立場で生活しておられます。毎朝、真のお父様と深刻な相談しながら会議を主宰され、全世界のすべての活動を細かく点検しておられます。このような1日1日を送っておられる真のお母様をまず知ることが重要です。真のお母様の事情と心情を知ると、察知していくようになり、察知していくと、一致した方向性を見つけることができ、最終的には真の父母様の心情と事情に一致した真の孝子、真の孝女の基準を備えるようになるということです。

皆さんがこの場に参加して真のお母様にお会いするようになることも、天の父母様と天地人真の父母様の大きな戦略と方向性の一つなのです。天の父母様と真の父母様の戦略と方向性に完全に一致した皆さんになるよう切に願っています。(一部抜粋)

「日臨節」76 周年で早稲田・高田馬場聖所巡礼

文孝進様家庭も真のお父様を追想







①聖所巡礼の参加者 ②早稲田大学を訪問された 文妍娥様(左から3人目) で一行

こ 「」 ③山口教区が行った「日臨 節 76 周年記念大会」の参 加者

4月1日、「日臨節76周年 早稲田・高田馬場聖所 巡礼」が都内で行われ、教会員およそ70人が、真のお 父様の日本留学時代のゆかりの地などを巡りました。

真のお父様は1941年4月1日、韓国から船で山口・下関港に到着、初めて日本の地を踏まれました。それから43年9月末までの2年半、早稲田大学附属早稲田高等工学校で学びながら、真理探究の日々を過ごされました。家庭連合では4月1日を「日臨節」と呼び、毎年記念行事を行っています。

聖所巡礼では、参加者は JR 高田馬場駅(東京都新宿区)前に集合。1959 年 12 月に日本で最初に伝道された増田勝「早稲田・高田馬場聖所巡礼会」会長の挨拶と歴史編纂委員会の井口康雄部長による概要説明のあと、巡礼に出発しました。

一行が最初に訪れたのは、59年10月2日に初めて

の礼拝が捧げられ、日本家庭連合創立の地となった「雄 鶏舎時計店」の跡地。続いて、旧戸塚警察署跡地を経由し、 お父様の下宿先だった「三橋家」跡を訪れました。 最後 に、一行は早稲田大学の構内でお父様が留学当時に学ば れた校舎跡などを見学しました。

日臨節に先立つ3月26日、真の父母様のご長男・文 孝進様家庭の文妍娥様と3人のお子様が聖所巡礼をされ、若き日の真のお父様に思いを馳せられました。

また、山口教区では4月1、2日の2日間、「孝情の光、全世界の希望たれ」をテーマに、「天地人真の父母様御聖誕および日臨節76周年記念大会」を開催。真の父母様のビジョンを実現するため社会の第一線で活躍する祝福二世が講演し、参加者は希望を抱いて新しい出発をしました。

家庭連合文化の確立を目指して

全国の家庭・伝道教育部長が研修







①全国から集まった家庭教育部長・ 伝道教育部長 ②宋龍天総会長のメッセージを聴く

彡加有 ③ディスカッションを行う参加者

4月4日~6日、桜が満開に咲き誇る千葉・浦安の 一心特別教育院で「2017年度 全国家庭教育部長会議・ 伝道教育部長研修会」が開かれ、全国の地区・教区から 家庭教育部長と伝道教育部長が128人(一部兼任)参加しました。

「VISION2020 に向けた家庭連合文化の確立」をスローガンに掲げて行われた今回の研修会は、本部の組織改編により、田中富広副会長を中心に伝道教育、家庭教育、青年学生の各局が協力と調整を行う「伝道戦略委員会」が設置されて初めての合同研修となりました。

1日目は、家庭教育部長72人が参加。開講式では、阿部美樹家庭教育局長が「家庭教育」「二世圏祝福」の推進について昨年度の総括と2017年度の方針を発表。また、今年9月の「聖和節」に開催される祝福式に向けた取り組みについて説明しました。

2日目は、伝道教育部長が合流して計 128 人の合同 研修となり、阿部家庭教育局長と矢野治佳伝道教育局長 の講話に続いて、宋龍天総会長からメッセージ。「私たちは、今摂理の春を迎えています」との真のお母様のみ言を紹介した上で、日本家庭連合の 2017 年は「信頼と尊敬を受ける宗教」として「長子権復帰」を目指していくと強調。そのためには「新しい思考方式」を持つことの大切さを訴えました。

このメッセージはインターネット配信され、全国の牧 会者や婦人代表、伝道教育・家庭教育・青年学生教育に かかわるスタッフが学びの時間を持ちました。全員が、 もう一度自分自身を振り返り、新しい覚悟をもって「聖 和節」に向かって出発する尊い時間となりました。

研修会 2 日目の午後から 3 日目にかけては、伝道教育部長 81 人が参加し、「地域化と教育システム」に焦点をあてた研修が行われました。「地域化戦略と神氏族メシヤ活動」の講義に続いて、「実質的教会成長」「食口の成長」などをテーマにディスカッションの時間を持ち、積極的な意見交換が行われました。夕食後は、田中富広副会長が講話を行い、「孝情」についての深いメッセージを贈りました。

3日目は、実質的教会成長とコンテンツ制作に関する説明の後、現場からの活動報告に続いて、「今の時代に必要な教育システム」についてディスカッションを行いました。2日間のディスカッションを通じて、参加者は多くの気づきを得ると共に、課題や改善点などが明確になりました。

閉会式には徳野英治会長が駆け付け、伝道と神氏族メシヤに向かう私たちの姿勢について、自らの証しを交えながら熱弁。最後は「私自身から伝道を勝利する!」と全体で唱和させ、参加者を鼓舞しました。

参加者たちは、充実した今回の研修会を通して、 VISION2020 に向けて神氏族メシヤの勝利と救国救世 基盤の造成を果たす決意を新たにしていました。

強く雄々しく真の父母様を証ししよう!

宋総会長夫妻が第3地区を訪問





- ④青年と抱擁する李海玉夫人





4月8日、宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長夫 妻を群馬教区高崎家庭教会に迎え、第3地区(北関東) の責任者集会、壮年集会、成和青年集会がそれぞれ開催 されました。9日には同家庭教会で「第3地区インター ネット合同礼拝 | が行われ、宋総会長は、私たち自身が 誇れる個人・家庭となると共に、国家と世界に貢献する 家庭連合となっていこうと訴えました。







「壮年特別集会」には、第3地区内の5教区(西埼玉、 東埼玉、栃木、群馬、茨城)から壮年代表およそ100 人が参加。各教区の壮年部長による活動報告に続いて、 宋龍天総会長が「強く雄々しく真の父母様を証ししよう」 と題してメッセージを語りました。

その中で宋総会長は「家庭連合時代は、教会壮年部が 日本の壮年を引っ張っていかなければなりません」と強 調した上で、韓国の科挙試験で重視された「身言書判」 について解説しました。

「『身』は容貌で、第1印象が大事です。長子権復帰の 年である2017年、日本の社会・国民から愛と尊敬と信 頼を受ける家庭連合になっていきましょう。

『言』は言葉です。今はカイン・アベル文化ではなく、 疎通と共有の文化をつくっていかなければなりません。

『書』は文章です。心の美しさを文章で表現するには、 内的成熟が必要です。美しい文章は相手の心まで動かす ことができます。

『判』は判断力です。内面を完成させ、清く透明になっ ていかなければなりません

最後に、宋総会長は壮年たちの使命的責任の大きさに 言及しながら、「希望を抱いて完成圏を歩んで行く主役 になりましょう」と強調。壮年メンバーたちは大いに復 興し、心情的決意をして新しい出発をすることができま

李海玉総会長夫人を迎えて行われた「成和青年集会」 には、群馬教区を中心に各教区から高校生や大学生、青 年、家庭青年が約100人参加しました。

青年の代表2人が伝道と将来の夢に関する証しを行っ た後、参加者から寄せられた質問に李海玉夫人が回答す る形で講話の時間が持たれました。

李海玉夫人は、信仰生活において「礼拝」「祈祷」「感謝」 の3つが重要であると強調。「教会を"自分の家"として、 いかなる時も必ず礼拝を捧げなければなりません」と語 りました。

そのほか、李海玉夫人は二世の"連結問題"や家族の 伝道、祝福に向かう姿勢などの問いに対し、一人ひとり に寄り添い、自らの体験談を交えながらユーモアたっぷ りに回答。参加者たちは、李海玉夫人を通して真のお母 様の愛を感じつつ、お母様の青年圏に対する期待と熱い 思いを実感しました。

神氏族メシヤを勝利し、人生の有終の美を飾ろう

第5回「中日本霊園聖和祝祭」を挙行









4月8日、三重県鈴鹿市内の霊園で「第5回中日本 霊園聖和祝祭」が挙行され、地区を超えて奈良や京都か ら参列した人々を含め800人を超える遺族・関係者が 集まりました。

会場に向かう道中は霧雨模様の天候でしたが、開会が 近づくにつれて雨が止み、正に天が役事されたとしか思 えない環境のもとで式典が始まりました。

開会に先立ち、三重教区の合唱チームが素晴らしい コーラスを披露。引き続き、昨年1年間の聖和者の遺族 が献花を行いました。

式典は、経過報告、坪井俊之「中日本聖和家庭会」代 表理事と小藤田喜文第7地区長の挨拶に続いて、徳野 英治会長が記念説教を行いました。

徳野会長は、個人の救いを中心とする他の宗教とは 異なり、「統一原理」に基づく家庭連合は家庭次元の救 いを目指していると指摘。「三代圏の家庭生活を通して、 四大愛(子女の愛、兄弟姉妹の愛、夫婦の愛、父母の愛) の成熟・完成を成し、理想家庭を基盤として理想世界の 実現を目指すのが特長です」と説明しました。

また、「人生の3段階の最終段階は、霊界における愛 中時代です。地上生活における愛の実践の成績で霊界の 位置が決定されます」と強調した上で、最後に「真のお 母様が年配の祝福家庭に対して強調されることは、人生 の着地を決めることです。晩節を汚さず、悔いのない信 仰生活を歩んで、最後まで真の父母様を信じて行くこと です。そして神氏族メシヤ勝利のため、氏族圏や知人・ 友人、地域社会に真の父母様を堂々と証していくため、 勇気を持って立ち上がらなければなりません | と訴えま した。

聖和祝祭は、安井邦彦三重教区長の音頭で億万歳を行 い、閉会しました。

式典後、参列者は家庭ごとに墓の区画に散らばり、鈴 鹿家庭教会の食口から振る舞われた豚汁に舌鼓を打ち、 聖和者に思いを馳せながら談笑のひと時を過ごしまし

天に直結された"孝情"を歌声に乗せて表現

千葉ソナク少年少女合唱団が東京公演







①歌声で"孝情"を表現②世界各地の民族衣装を着てパフォーマンス③フィナーレでは OB・OG も加わって世界平和の願いを

3月31日、東京都渋谷区内の会場で「千葉ソナク少年少女合唱団」の東京公演が開催され、たくさんの観客で一杯になった会場には、洗練され清らかで温もりのあるハーモニーが響き渡りました。

真のお母様から 2006 年に称号を頂いて発足した「鮮鶴合唱団」は、教会の公式行事や内外のイベント、老人施設などの慰問公演を中心に活動を展開。中でも、外部の合唱コンテストで 3 年連続金賞を受賞するなど、高い評価を得ている千葉ソナクは過去 11 年間、毎年冬に千葉県内で定期コンサートを開催してきました。東京公演は、少しでも多くの方々に家庭連合が誇る「鮮鶴合唱団」を紹介するため企画されました。

今回のプログラムでは、宗教曲をはじめディズニーの 代表的な楽曲、世界各国の名曲集など全 27 曲を披露。 合唱のみならず、ダンスや振り付けの演出で盛り上げ、 特にメンバー全員が世界の民族衣装を身にまとった後半 の演出は圧巻でした。色彩豊かな衣装は全て父母スタッ フと先生方の手作りで、本番のステージでは、精誠を込 めて作られた衣装が、子供たちの笑顔と共に輝いていま した。

前半の宗教曲は、神様への讃美と再臨主の降誕を祝福 する楽曲を中心として、ラテン語、ヘブライ語、英語、 ハンガリー語(マジャール語)の歌詞で表現しました。 高度な技術を要する楽曲を完成度の高い作品として仕上 げ、祝福二世として天に直結された"孝情"の心情が合 唱の歌声と共に再生されました。 「ディズニー・オンステージ」は「誰もが楽しめる」というファミリーエンターテインメントとし、振り付けを 交えた7曲メドレーで会場は大いに盛り上がりました。

後半は、「歌い継ぐ世界の歌」と「平和への祈り」をテーマに、全世界で慕われ愛されている8曲を披露。団員達の笑顔が映え、さらに会場は温かい雰囲気に満ち溢れました。特に「小さな世界~イッツ・ア・スモールワールド~」は、世界中の子供達を目の前に迎えた一つの家族の世界を表現し、抜群の歌唱力とハーモニーで、会場は感動の拍手に包まれました。

公演の最後は、歌劇「アイーダ」の凱旋行進曲をモチーフにしたオリジナル曲「夢かなえるため」でした。神様の夢、真の父母様の夢をかなえて差し上げたいという思いと"孝情"の心情を歌詞に重ね、千葉ソナクの OB・OG の賛助出演で荘厳かつ壮大な響きで締めくくりました。

この日は来賓も大勢来場され、徳野英治会長ご夫妻、 田中富広副会長はじめ、新聞社や雑誌記者、芸能プロダ クション関係者など多くの方々に喜んで頂くことができました。

今後は、お母様から頂いた「鮮鶴合唱団」の伝統の灯を絶やすことなく、また「我が家庭連合」の貴い宝の一つとして誇り続けていける芸術団として、出来る限りのサポートをしていきたいと思っています。

(広報文化局文化部長・猪熊広己)

岡山、香川教区で神氏族メシヤ修練会

4月9日、岡山家庭教会で「神氏 族メシヤ修練会1DAY」が行われ、 230人が参加しました。

入山聖基・本部伝道教育部長は午 後の講話で、「天国を実現するため には私たちが成長し幸福感を感じる ことが何より大切です。その土台の うえでゲストは復興するのです」と 強調。「天国へのパスポートは『神 氏族メシヤ』です」と述べました。

同日、香川教区高松家庭教会で「香 川教区神氏族メシヤ修練会」が行わ れ、186 家庭、253 人が集まりま した。

北谷真雄第 10地区長のメッセージや映像などを通して、困難な歩みの中で 勝利の基準を立

てられた真の父母様の路程を振り返りながら、参加者一人ひとりが神氏 族メシヤと伝道の勝利に向けて再決 意する場となりました。



別山家庭教会で行われた「神氏族メシヤ修練会」の参加者



香川教区の「神氏族メシヤ修練会」で 講義する北谷直雄第10地区長

西東京、北大阪、鳥取教区で自叙伝書写イベント

4月2日、西東京教区は都内の会場で「自 叙伝書写4周年記念大会」を開催し、新 規950人を含む2646人が参加しました。 「キッズブース」では、子供向けの講話や 書写の実践も行われました。

4月8日、北大阪教区は大阪府守口市内の会場で「第39回自叙伝心の書写会」を開き、新規・再復帰のゲスト40人を含む約300人が参加。原田安芳・北大阪教区伝道教育部長が講話を行い、「私自身が生まれ変わることによって、家庭が変わ

る、そして地域・社会が必ず変っていく という強い信念を持って頑張りましょう」 と呼び掛けました。

4月9日、鳥取教区米子家庭教会は米 子市内の会場で「春の書写まつり in 米子」 を開催し、地元議員を含む 430 人が集ま りました。エンターテインメントや書写の 恩恵の証し、浅川勇男先生の講話、大抽 選会などが行われ、会場は大いに盛り上 がりました。





鳥取県米子市で行われた 「春の書写まつり」で

神奈川・横須賀家庭教会でオープン礼拝

3月26、27の2日間、東神奈川教区横須賀家 庭教会では、オープン礼拝が行われ310人が参加。 そのうち60人あまりが新規と再復帰でした。

横須賀家庭教会は昨年から、家庭礼拝などのホームグループ活動を通じた伝道の取り組みをスタート。今年6月には600人規模のオープン礼拝を行う予定です。



説教を行う金斗衡教会長

